

## 防災メモ

### 火山用語の解説

- 噴火 : 火口から火山灰等の固形物や溶岩を火口外へ放出する現象。
- 爆発 : 噴火の一形式で爆発的噴火の略。地下の高温、高圧源により内圧が増大して起こり、音響とともにガス、水蒸気、岩石等を放出し、空振をともなう現象。ときには火口や山体を破壊することもある。
- 空振 : 爆発的な噴火の際に発生し、衝撃波が強い音響とともに空中を伝播する現象。窓ガラスが割れることもある。
- 噴煙 : 火山の噴火の際に放出された細粒物質や火山ガス、水蒸気等が煙状に濃縮したもの。
- 火山灰 : 火山噴火時に放出される細粒の噴出物。粒子の直径が約直径 2 mm 以下のもの。
- 火山ガス : 火山から発生する気体で、通常大部分は水蒸気。二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ 、無臭）、硫化水素（ $\text{H}_2\text{S}$ 、異臭を伴う）や亜硫酸ガス（ $\text{SO}_2$ 、刺激臭を伴う）などの有害物質が含まれることもある。
- 火口 : 噴火口ともいい、地下のマグマや火山ガスが地表に放出される場所で、普通円形に近いくぼみ状地形。
- 火山性地震 : 火山体またはその周辺に発生する地震。解説資料本文中の地震とは、主に火山性地震を指し、周期の短い高周波地震、比較的周期が長い低周波地震や火山の爆発に伴って発生する爆発地震がある。
- 火山性微動 : 火山に発生する連続した振動で、振幅や周期が比較的一定のものとそれらの変化が大きいものがある。また継続時間も極めて短いものから、常時発生しているものまである。マグマや熱水の移動等に関連して発生すると考えられる。
- 深部低周波地震（モホ面付近の低周波地震） : 地殻とマントルとを分ける不連続面（モホロビッチ不連続面、モホ面ともいう）付近で発生している低周波地震。発生原因については諸説あるが、深部に局在するマグマの複雑な運動により、発生するとも言われている。